



新しい教育スタイルを創造していく専門塾

都立中高一貫校と最難関都立高校対策の
新・合格様式

E-style

Produced by 栄光ゼミナール

— Premium Guide Book —



未来を創る E-styleの教育

これまでにないスピードで変化を遂げている現代。また多様化する価値観。
更にはコロナ禍において、社会そして教育現場は
オンラインを含めたデジタル化が一気に進み、大きく変容しております。

その最中、今の子どもたちには、新たな時代を見据えた、
新たな社会に必要な能力が求められています。
2020年から本格的にスタートした教育改革では、
その指針として「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、
「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の
3要素が掲げられており、新しい能力基準とされています。

一方、この時代、E-styleはなにを提供して社会に貢献すべきか？
未来ある子どもたちのために約束すべきことはなにか？
この問いへの答えとして、強い使命感を持って、
新しい教育スタイルを創造していく専門塾として、
誠実に子どもたちと向き合いたい。
その様に考えます。

「自ら学び、考え、判断し、表現する」力を育み、
お子さまの成長の一助を担い、未来のリーダーを輩出すること。
これこそがE-styleにおける教育の使命だと考え、
お子さまを都立中高一貫校および
最難関都立高校の合格へと全力で導いてまいります。

E-style が選ばれる、3つの理由

Produced by 栄光ゼミナール

1 | 都立中高一貫校対策、 最難関都立高校対策に特化した専門塾

各学校合格に向けた、他にはない専門カリキュラムと専門教師における充実した指導をお約束します。

2 | 合格する生徒の姿を知っているからこそその 信頼できる専門塾

自立・自走できる生徒の育成に主眼を置き、合格に重要な要素である「思考力・判断力・表現力」の能力開発をお約束します。

3 | 学習効果の最大化を目指した 設備・環境の専門塾

知的好奇心の刺激や集中して学習ができる環境に加え、指導効果も十分に引き上げられる場の創出をお約束します。

E-styleは、栄光ゼミナールの指導ノウハウを活かし、都立中高一貫校受検、最難関都立高校受検に特化したオリジナルカリキュラムで、徹底的な志望校対策を行う学習塾です。都立中高一貫校対策、最難関都立高校対策、それぞれに精通した専門の教師陣が、生徒から意見を引き出し、知的好奇心を刺激する、他にはない双方向の授業を展開。一人ひとりの成長に合わせ、適切な指導と対話をもって第一志望合格に必要な力を育みます。私たちが教育のコンサルタントとして、お子さまの将来の選択肢を増やし、適切な学習サポートをすることをお約束します。是非一度、E-styleの教室まで足をお運びください。

INDEX

E-styleの特長	P3
[小学部]都立中高一貫校対策コース	P5
[中学部]最難関都立高校入試対策コース/ 都立上位高校入試対策コース	P11
わたしの合格体験記	P15
生徒・保護者の声	P17
教室一覧	P18

志望校合格のための最高のメソッドと環境を

E-styleの特長

- 1 志望校に特化した専門カリキュラム

独自の対策が必要な適性検査や自校作成問題に対して、志望校別専門カリキュラムを用意。入試までに計画的かつ徹底的な志望校対策が可能です。
- 2 少人数制・双方向授業による論理的思考力の育成

教師や生徒同士の活発な意見交換を行う少人数制・双方向授業を展開。「なぜ?」「どうして?」と発問を繰り返すことで、論理的思考力を育成します。
- 3 志望校を知り尽くしたベテラン教師陣

志望校対策に精通した教師陣が責任をもって指導にあたります。お子さまが希望する進路と将来に向けて、的確な学習サポートを行います。

学習効果・効率を最大限アップする合格メソッド

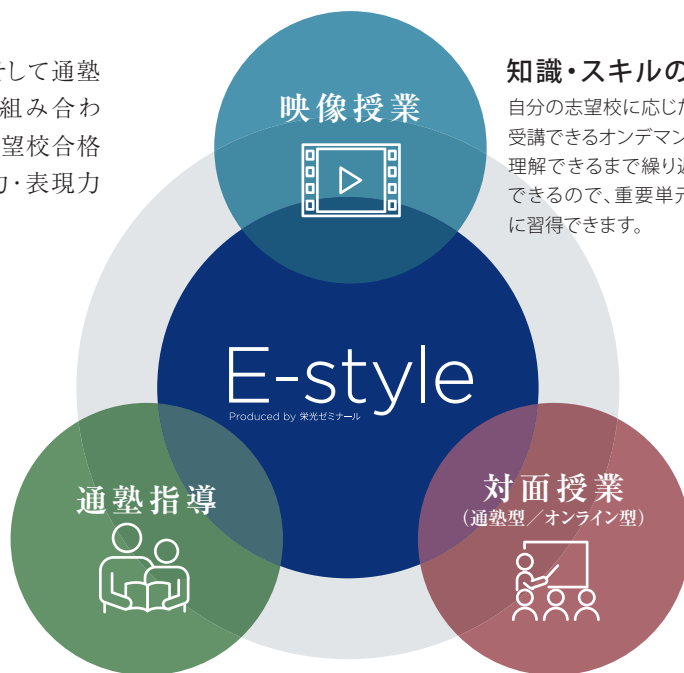
E-styleの合格メソッド

	映像授業		対面授業		通塾指導
都立中高一貫校受験	Acquirement 知識の習得	×	Thinking 思考・判断 Presentation 表現	×	Habit 習慣 Achievement 成果
最難関都立高校受験	Acquirement 知識の習得	×	Presentation 思考・判断・表現	×	Achievement 成果

映像授業と対面授業、そして通塾指導を効果・効率的に組み合わせ、基礎学力の向上と志望校合格に必要な思考力・判断力・表現力を養います。

学習習慣の定着・成果の確認

授業以外の時間にも専門教師が個別でフォロー。定期的にコミュニケーションを取りながら、学習習慣の定着度や課題の進捗具合などを確認します。



知識・スキルの習得

自分の志望校に応じた授業を受講できるオンデマンド授業。理解できるまで繰り返し視聴できるので、重要単元を確実に習得できます。

思考力・判断力・表現力の養成

志望校対策専門の教師陣が指導する双方向授業。対話をしながら進む授業で、子どもたち自身の考え・意見を引き出します。

学 年	映像授業	対面授業	
小学3～4年生	—	各教室(通塾型)	自宅(オンライン型)
小学5～6年生	○	各教室(通塾型)	自宅(オンライン型)
中学1～3年生	—	一部教室(通塾型)	—

開設コース

都立中高一貫校と、進学指導重点校(日比谷・西・国立・戸山・青山・立川・八王子東高校)に特化した対策コースを展開。小学3年生から中学3年生まで対応しています。

[小学部]

- 小石川中等教育学校対策コース
- 白鷗高等学校附属中学校対策コース
- 両国高等学校附属中学校対策コース
- 桜修館中等教育学校対策コース
- 富士高等学校附属中学校対策コース
- 大泉高等学校附属中学校対策コース

- 南多摩中等教育学校対策コース
- 立川国際中等教育学校対策コース
- 武蔵高等学校附属中学校対策コース
- 三鷹中等教育学校対策コース
- 九段中等教育学校対策コース

※掲載順:東京都教育委員会HP掲載順としております

[中学部]

- 最難関都立高校入試対策コース 日比谷/西/国立/戸山/青山/立川/八王子東高校
- 都立上位高校入試対策コース

学習環境

目指す中高の近隣に、専門教室を開校

各中学校の近くに、専門教室を開校。教室ごとにお子さまの志望校に特化した対策を提供しています。また、目標(志望校)が近くにあることで、学習に対するやる気や意欲を高める環境を整えています。

自習室「i-cot(アイコット)」

各教室に自習室「i-cot」を完備。ブースタイプの机で、集中して学習に取り組むことができます。

教育サポート

進路指導

定期的に保護者会・保護者面談(三者面談)を実施。保護者会では、受験の基礎知識から最新の入試情報までしっかりとお伝えします。保護者面談では、志望校対策の専門教師がお子さまの日頃の学習状況をご報告し、今後の学習方法のアドバイスや併願戦略などお話しします。

個別相談

お子さまの学習面のサポートはもちろん習い事との両立、勉強以外の時間の使い方、メンタル面でのフォローなど、不安なことや気になることがあればいつでもご相談できます。

2025年入試 合格実績

都内公立一貫校 合格者数

82名

合格率 42.9% (一般合格率29.5%)

九段中 15名

合格率57.7%(一般合格率33.2%)

小石川中 10名

合格率55.6%(一般合格率31.9%)

三鷹中 8名 武蔵高附中 1名

富士高附中 13名

合格率54.2%(一般合格率31.3%)

立川国際中 9名

合格率42.9%(一般合格率31.3%)

桜修館中 4名 大泉高附中 1名

両国高附中 12名

合格率41.4%(一般合格率27.3%)

白鷗高附中 8名

合格率50.0%(一般合格率27.1%)

南多摩中 1名

※合格率は合格者数/受験者数で算出しています。

E-styleの合格実績は、全国学習塾協会が定める以下の条件に該当する生徒を集計しています。

- 一. 受験直前の6か月間のいずれかに在籍している
- 二. 同期間に、受講契約に基づく下記いずれかの受講実態がある
 - ・30時間以上の受講
 - ・継続して3か月以上の受講



2025
公益社団法人
全国学習塾協会

都立中高一貫校対策コース

栄光ゼミナールで適性検査対策ゼミを歴任してきた教師が授業を担当。学力別クラス編成で受験に向けた学力の土台を築きます。通常授業以外でも、実戦力を養うための講習や模試を用意し、第一志望に特化した対策を行います。

目指す中高の近隣に、専門教室を開校

各中学校の近くに、専門教室を開校。目標が近くにあることで、学習に対するやる気を刺激し、意欲を高める環境を整えています。

仲間と切磋琢磨する合宿・講習

合宿や季節ごとの講習では、今まで習った学習内容を応用レベルまで復習。同じ目標を持つ仲間と一緒に集中して受験勉強に打ち込みます。

志望校に合わせて専門的にサポート

都内の適性検査は、学校ごとに求められる力が少しずつ異なります。E-styleでは、各校舎が専門館として志望校にフィットした対策を提供いたします。同じ志望校を目指すライバルと切磋琢磨しながら合格力を効率よく鍛える指導をぜひご体験ください。



公立中高一貫校
受検指導統括責任者
石原 裕一郎

小3では、読解練習はもちろん、全校でディスカッションや調べ学習を取り入れ、自ら考え表現する楽しさを体感してもらいます。また、お互いが刺激となる環境は、好奇心や意欲を自然と引き出し柔軟な発想力を育みます。



公立中高一貫校
受検記述指導主任
荒海 理恵

合格に直結する作文指導

適性検査では難度の高い説明文・論説文を読み解く力が求められます。E-styleでは丁寧な作文添削指導で、適性検査に対応した読解力・記述力を養います。

指導ポイント

1 文章の表現・表記の誤りを赤字で指摘

返却時に「なぜ誤りなのか」をしっかりと説明します。

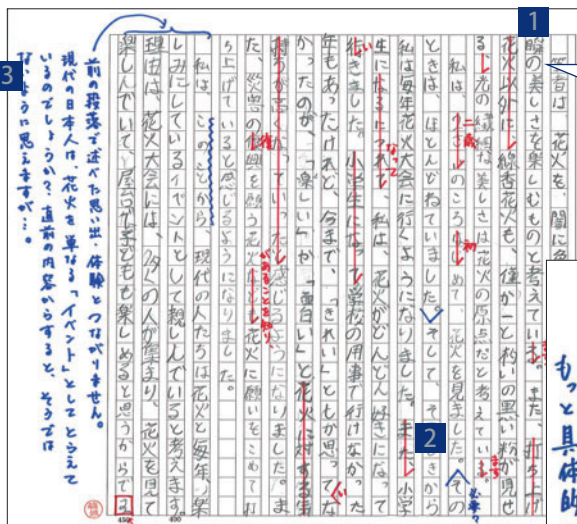
2 不要な表現・内容はないか問いかけ

一文が長すぎると言いたいことが伝わりにくいことを説明。それぞれの文の「中心」を意識させ、不要な内容はないか考えてもらいます。

3 文章の構成、前後の段落の連続性の確認

段落同士のつながりが点を指摘。作文を書き始める前に段落構成を考えるように指導し、繰り返し書き直してもらいます。

Before 入塾当初



成長ポイント

- 1 誤字・脱字がほとんどなくなった!
- 2 短い文を連ねて簡潔に文章を書けるようになった!
- 3 設問に合ったテーマ・構成、適切な段落数でまとめられるようになった!

After 受検直前



志望校別専門カリキュラムで、ライバルに差をつける実戦力を鍛える

小石川中等教育学校対策

教科 | ●適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ対策(表現) ●適性検査Ⅱ・Ⅲ対策(思考・判断)

きわめて独自性の強い小石川中の入試問題をオリジナルカリキュラムで学ぶ

小石川中の適性検査は、都立中の中でもきわめて独自色の強い理系分野の問題が並びます。また、記述問題の出題数が際立って多いことも特徴であるため、文系理系に偏りのない、高いレベルの学習が求められます。しかし、徹底的にパターン化された問題でもあるため、専門対策が有効な学校でもあります。過去の合格者のデータと適性検査の出題傾向を徹底的に分析したオリジナルカリキュラムと精鋭教師陣によるハイレベルな指導で、小石川中合格へと導きます。



小石川中等教育学校専門担当
山敷 淳史

[開講教室] E-style巣鴨校



PICK UP 授業

発想力・文章力を鍛えるディスカッション授業

ディスカッション授業では、“生徒と生徒”→“生徒と教師”→“生徒と生徒”と、議論の過程を3段階に分けて丁寧に展開。クラスメイト・教師の意見を踏まえ、最終的な自分の意見を作文することで、豊かな発想力と論理的に整合性のとれた文章を書く力を養います。

白鷗高等学校附属中学校対策

教科 | ●適性検査Ⅰ対策(読解・作文) ●適性検査Ⅱ対策(文系) ●適性検査Ⅱ・Ⅲ対策(理系)

答えを導くプロセスを重視し、合格に必要な力を正しく身につける

白鷗高校附属中の入学者選抜で課される3つの適性検査のうち、適性検査Ⅲは算数分野・理科分野を中心とした「独自作成問題」です。出題の特徴は会話文・リード文・設問の文章が全体的に長いことで、限られた検査時間の中で、集中して必要な情報を読み取って整理することができるかが、合格のためのポイントとなります。つまり合格には、白鷗という学校の特性を熟知した対策が必要不可欠です。E-style上野校では、白鷗高校附属中創立時より対策ゼミを担当する教師と、過去の合格者データを分析して完成したカリキュラムで、合格に直結する専門指導を受けられます。



白鷗高校附属中学校専門担当
稲垣 佑介

[開講教室] E-style上野校



PICK UP 授業

柔軟で多面的な理解を促すための思考訓練

白鷗高校附属中の適性検査Ⅰでは、社会的な課題を題材にした説明的文章の読解と、それに基づく意見作文が頻出されます。対策コースでは、生徒同士で意見交換し、視点を変える思考訓練を行うことで、課題に対して多面的な考え方をする訓練を積み重ねていきます。

両国高等学校附属中学校対策

教科 | ●適性検査I対策(読解・作文) ●適性検査II・III対策(算数・理社)

頭だけでなく、手を動かして粘り強く考える力を醸成する

両国高等学校附属中の適性検査のうち、独自問題である適性検査Ⅲは、一般的に私立中の入学選抜試験で多く出題される一行問題や、作文、記述問題などと性質が異なります。与えられた条件をもとに手を動かしながら実験をし、本質を見抜いた上で解答する出題となっています。適性検査I、IIで問われる基礎力も培いながら、適性検査Ⅲで求められる自ら手を動かして粘り強く考える力を4年生から重点的に養う専門カリキュラムで、合格へ導きます。



両国高校附属中学校専門担当
井上 陽介

[開講教室] E-style錦糸町校



PICK UP 授業

トライ&エラーの対話型授業で思考力を培う

教師が一方的に授業を行うのではなく、生徒が自ら解答を発表する機会を設けた対話型授業で考える力を培います。発表に向け、答えを出すまでの手順を整理する中で、自分の間違いに気付いたり、逆に解答への自信を深めたり、適性検査に挑むための見直し力や、意識も身につけます。

桜修館中等教育学校対策

教科 | ●適性検査I対策(作文表現) ●適性検査II対策(算数論理・理社記述)

桜修館中等教育学校が求める多様性、論理性、表現力を培う

桜修館中等教育学校の適性検査では、独特の作文テーマが出題されます。問われるのは、難しいテーマの中から課題を発見し、それを解決するにはどうすればよいか、論理的に考え、表現する力です。難解な課題に向き合うために、教師と生徒、生徒と生徒同士でディスカッションする場を設けて多様な価値観に触れ、いろいろな角度から課題と向き合う姿勢を醸成します。また、算数の分野の独自問題に備え、専門カリキュラムや教材を駆使し、効率的に力を蓄えます。



桜修館中等教育学校専門担当
土屋 崇

[開講教室] E-style大井町校



PICK UP 授業

自ら考え、表現する力を養う課題解決討論会

各自で与えられた課題について事前に調査し、考えや意見、解決策を独自に見つけ出してまとめた上で、グループワークを行い、生徒同士の意見を整理して、発表する場を設けます。自分の力で解決策を考え出す練習や、自分の考えを相手に的確に説明する力を養うための訓練です。

南多摩中等教育学校対策

教科 | ●適性検査I対策(読解・作文) ●適性検査II対策(算数思考・理社記述)

対面授業と映像授業の両輪で合格力を高める

南多摩中等教育学校では、適性検査Iで独自問題が出題されます。また適性検査IIの大問3の配点が高いのも特徴です。ここで確実に得点するため、論理的な読解力と作文力、資料の分析力と表現力、数理的な分析力と考察力を養成する専門のカリキュラムで学習します。映像授業で基礎的な学力の構築を、対面授業でより踏み込んで表現力を鍛える対策を行うなど、それぞれの優位性を活かし、総合的な学力の底上げを図って合格に必要な力を身につけます。



南多摩中等教育学校専門担当
渡邊 惇帆

〔開講教室〕 E-style立川校



PICK UP 授業

自ら課題を発見し、解決する力を養う

適性検査IIの大問3は、一言でいえば対照実験の問題です。与えられた資料を見て内容を掴み、深く考えて判断し、解答を正確に表現する力が必要です。小手先の暗記では太刀打ちできないため、自ら考えて課題を解決する姿勢作り、力を入れ、自分の手で未来を切り開く生徒を育てます。

武蔵高等学校附属中学校対策

教科 | ●適性検査I対策(文系・読解・作文) ●適性検査II・III対策(思考算数・理社記述)

教科バランスを保ちながら総合力を育む専門カリキュラム

武蔵高等学校附属中は、適性検査I・II・IIIの比重を同等に考えている数少ない都立一貫校の一つです。しかし、その中でも、適性検査IIIでは、難易度や相性が大きく変わる問題を出題し、その出来が合否を分けると言っても過言ではありません。適性検査IIIでは、算数と理科の応用問題が出題されるため、上半期には文系を中心に理系は基礎を固め、下半期には理系の応用問題対策を中心に、教科のバランスを保ちながら、合格を勝ち取るための総合力を育みます。



武蔵高校附属中学校専門担当
林川 敬

〔開講教室〕 E-style吉祥寺校



PICK UP 授業

出題者の意図を意識した記述力を鍛える

出題者の意図を見抜き、解答する力を鍛えるため、問題作りの課題を取り入れています。グラフなどの資料のみを生徒に与え、問題文を作り上げる課題です。資料の何に注目させ、何を記述するか考える鍛錬は、自分が問題を解く際、出題意図をくみ取って正確に記述する力になります。

三鷹中等教育学校対策

教 科 | ●適性検査I対策(読解・作文) ●適性検査II対策(算数・理社記述)

専門カリキュラムで、論理的に考える力を育む

三鷹中等教育学校の適性検査では、適性検査Iが独自問題で文学的文章の読解問題が出題されます。作文は、文章の内容をふまえて書くため、文章の読解力が必須です。また、四百字の作文でも段落を分けずに書くことにも慣れる必要があります。適性検査IIの大問1では、算数系の独自問題が出題されますが、配点が40点あり、500点満点に換算すると200点と非常に比重が大きく、合否を分ける重要な問題です。これらの独自問題に十分に備え、合格に必須の論理的に考える力を育みます。



三鷹中等教育学校専門担当
今井 正人

[開講教室] E-style吉祥寺校



PICK UP 授業

討論会を通して、他者視点と表現力を磨く

与えられたテーマについて、生徒同士で自分の考えを伝え合う討論会を実施しています。どうすれば分かりやすく伝えられるか、論理的な表現力を磨きながら、相手の話にも耳を傾け、出題者の気持ちを想像し、他者の視点に立つ経験を積んで、ものの見方、考え方を鍛えます。

区立九段中等教育学校対策

教 科 | ●適性検査1対策(文系) ●適性検査2・3対策(理系基礎・応用)

九段中等教育学校に特化したオリジナルカリキュラムで対策

唯一の区立中高一貫校である九段中等教育学校は、他の都立中高一貫校と異なる問題傾向を持ちます。傾向がないのが傾向、と作問担当者がおっしゃるほど、毎年様々な切り口で問題が出題されます。これを面白いと取るか、大変だと取るかで、すでに九段中等教育学校に向いているかどうかがある程度分かります。E-style飯田橋校では、九段中を熟知した教師と、過去の合格者データを徹底分析して作り上げたカリキュラムで、合格に直結する専門指導を行います。



九段中等教育学校専門担当
中野 昌典

[開講教室] E-style飯田橋校



PICK UP 授業

効率的にミスをなくし、得点力を高める

文学的文章や説明的文章の読み取りと作文の練習、資料を分析して表現する力の向上、数理的に分析して考察する力を養成する専門カリキュラムで、総合的な学力の底上げを図ります。合格点の高さを見据えて、素早く論理的に解答する能力を向上させ、ミスをなくす姿勢を養います。

立川国際中等教育学校対策

教科 | ●適性検査Ⅰ・Ⅱ対策

文章読解力を、国語だけでなくすべての教科に応用する

他校が作文の配点が高いのに対し、立川国際中等教育学校では、独自問題である適性検査Ⅰのうち、読解系の問題1、2で50点も配分があり、作文と同等に高いという特徴があります。そのため作文の練習量は維持しつつ、読解問題の訓練も重視しなくてはなりません。難解な論説文を読み解くための語彙を増やし、自分の課題として考え、要旨を正確に読み取る練習を楽しめる授業を提供します。培った読解力は全教科の点数アップを後押しし、合格へ近づけます。



立川国際中等教育学校専門担当
沖 哲弥

〔開講教室〕 E-style立川校



PICK UP 授業

問いかけをくり返し、論理的な思考をサポート

改めて問われると、なぜだろう、と考えてしまう疑問を出題し、論理的に分かりやすく解きほぐす訓練をします。教師の問いかけに生徒が答え、その答えをもとに今度は生徒が問いかけ、別の生徒が答える。これをくり返して真実を探求し、少しずつ、着実に思考力、表現力を養います。

富士高等学校附属中学校／ 大泉高等学校附属中学校対策

教科 | ●適性検査Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ対策

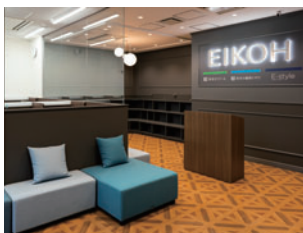
粘り強く難問に取り組む姿勢をはぐくみ、成功体験を重ねて自信を身につける

どちらの学校も適性検査Ⅲが独自問題であり、300点に換算されるため、算数・理科の対策が最も重要です。富士中は、1問25点という大きな配分の問題もあり、設定や条件をよく理解し、分析して規則性を見出したり、空間を認識したりする練習が必要です。大泉中は、多くの良問に取り組む中で、不必要な部分は除き、必要な部分を取り上げ、ミスなく論理的に答えを導く練習が必要です。粘り強く取り組みれば最後には解ける、という経験を繰り返し、揺るぎない自信を身につけ、合格へ導きます。



富士高校附属中・大泉高校附属中専門担当
石山 純也

〔開講教室〕 E-style中野校



PICK UP 授業

対話型授業で「考察し説明する力」を鍛える

さまざまなタイプの理系問題に触れてきた経験がものを言うため、生徒主体で方針から考える指導を行いつつ、多くの良質な問題に取り組めます。実際の物事がどのような仕組みになっているのか、設問の会話文に引きずられず考察を進め、問題の本質を的確に説明する力を養います。

最難関都立高校入試対策コース 都立上位高校入試対策コース

各校が出題するハイレベルな自校作成問題に対応したカリキュラムで、思考力・判断力・表現力を養成します。

開講教室 E-style中野校・大井町校

教科 国・数・英・理・社

基礎力強化の先取りカリキュラム

先取りカリキュラムで学習します。塾で頻出単元を習得し、学校で復習するという学習サイクルで、履修内容が着実に定着します。

統一模試

最新の入試傾向を反映したテストを定期的実施。現時点での実力を客観視でき、苦手分野が明確になるため、今後の学習計画に役立ちます。

指導のポイント

各校の出題傾向と頻出分野を重視し、記述問題や証明問題において確実に点数をとるための添削指導を中心にしたカリキュラムを教科ごとに設定しています。

中2

最難関都立入試に必要な学力土台と 学校内申の二本柱を追及

①E-styleでの先取り授業 ②宿題 ③学校の授業 ④定期テスト対策
という学習サイクルを確立させ、学力の基礎を強化。
学校の定期テストにも集中して取り組めるように
効率良く指導します。

中3

徹底した最難関都立校の 入試対策

通常授業に加え、模擬試験・
ゼミをはじめとする特別講座など、
総合的な受験対策で
最難関都立高校合格を目指します。

5教科の指導

国語

「読解アプローチ力×設問アプローチ力=読解力(国語力)」

E-style国語科授業のテーマは「普遍性」です。対峙する問題にいつでも同じアプローチができる思考回路を養成します。最難関都立高校入試問題において出題される抽象度の高い文章、記述問題、作文、ハイレベルな漢字への対策を実施し、合格に必要な答案作成力を育成します。

数学

「計算力×状況整理力×記述力=数学力」

最難関都立高校入試の数学では、問題にある多くの情報を適切に整理し、正しい解法を選択する力が求められます。E-styleの数学授業では、どう状況を整理してどの解法を試すかを正しく判断できる力を鍛えます。そのうえで、個々の性格に応じて記述力、計算力を指導し、数学を入試本番の得点源となる科目へ育てます。

英語

「語彙力×英語長文読解力×英作文力=英語」

E-styleの英語授業では、ハイレベルな問題や文法事項を授業中に扱い、単語・熟語テストでの語彙解説や長文問題演習等を加えて指導します。また、英作文演習と添削指導を行うことが、吸収した知識をアウトプットする練習となり、入試本番で点数の取れる解答力を育成します。

理科

「物理+化学+地学+生物+記述力=理科力」

進学指導重点校の入試では、理科で最低でも8割の得点率が必須です。入試問題は、4分野からバランスよく出題され、学習する内容は多岐に渡るため、苦手分野を作らないことが重要です。E-styleでは、各分野の全体像を把握し細かな知識を原理から考え、連動して覚える指導をします。

社会

「地理+歴史+公民+記述力=社会力」

進学指導重点校の社会でも、入試で8割の得点は必要です。地理・歴史・公民と、学習する分野・項目ともに非常に多い社会では、苦手を作らないことと記述問題で確実に得点できる指導を行います。それにより中3の夏以降に主要3教科に学習時間を割けるようになります。

自校作成問題を完全攻略し、入試までに確かな自信をつける

日比谷高等学校入試対策

国語

抽象的で難易度の高い 設問に備える

抽象的な内容が多く、設問の難易度は高くなっています。そのため日頃から抽象的な文章に触れる機会を増やし、論旨をまとめる練習が必要です。また、比較的新しい新書も読み、テーマごとのよくある論理展開に慣れておくことで、文章理解力を育成します。

数学

曖昧さをなくし、明確な 記述ができる表現力を育む

時間内に解き切るのが困難な難易度であり、記述問題では採点者に推測させるような曖昧な書き方では大幅な減点となるため、丁寧な解答が求められます。記述問題では、示される内容の理由が書かれているかを常に問い、反復して正確な理解と表現力を定着させる指導を徹底します。

英語

読解問題には、 他教科の知識もフル活用

大問4つで構成され、日常の体験や、史実を題材に出題される読解問題が大半です。長文を早く読む力や単語力に加え、他教科の知識も活用できるかが攻略のカギです。長文問題や英作文の演習を授業ごとに実施し、語彙力養成のため、「意味、綴り、発音」の3つを合言葉に練習を重ねます。

西高等学校入試対策

国語

一読で論説文を 読み解く力を鍛える

出題される論説文は文章量が多く、読み返して考える時間がないため、一読で状況や心情の変化を読み取る力を鍛えることが重要です。また作文の配点が14点あり、題名を付ける出題もあるため、多くの抽象的文章を読む時間をつくり、文章を要約して一言で全体像を表す練習も重ねます。

数学

多くの情報を処理し、 規則性を見出す力を養う

小問集合では、数の性質・資料の活用分野が問われることが多くなっています。多くの情報を処理し、規則を推測して説明する力が必要なため、その演習に特に力を入れます。分量の多い問題の演習に注力することで、限られた時間内に解き切るための対応力を身につけます。

英語

短時間で多彩な問題を 読み解く練習を積む

大問4つで構成されているのは、日比谷高等学校と西高等学校の2校の入試のみです。大問2では、例年要約文問題が出されます。本文の内容を理解しているかを試す問題の種類が他の自校作成校よりも豊富なため、短時間で多彩な問題を読み解く練習を積む必要があり、重点的に対策を行います。

国立高等学校入試対策

国語

古典を対訳なしで 読める力を身につける

小説文、論説文の文章レベルは標準ですが、古典を含む問題の難易度が高い傾向があります。対策として、古典については、対訳や評論がついていたとしても、古典単独で読める力を身につけることを目指します。私立の試験で出題される古典にも触れ、主語の特定、文法を中心に集中して学習します。

数学

高度な計算力と 正確な情報処理能力を育成

高度な計算力を求める問題が多く、また図形では正確な情報処理ができるかが問われます。そのため演習では、なぜその技法が使えるのか反復して問い、図形の性質と技法のつながりに対する理解を深めます。図示しながら解くことで、線や面の位置関係を正確に捉える力をつけます。

英語

得意不得意、 配点を考えて戦略的に学習

大問2の対話文のテーマは毎回非常に難解で、日本語でも解答が困難な問題が多数出題されます。大問3は比較的取り組みやすい文章が多く、英作文も語数が少ないため、大問2で躓く際は一旦保留にし、大問3を確実に得点する対策を強化するなど、学習状況や配点を見て戦略的なプランを立てます。

戸山高等学校入試対策

国 語

古い時代の文章に触れ、 時代背景を押さえる

小説文は、明治、大正をモチーフにした文章から出題されることが多いため、古い時代の文章に触れ、その当時の時代背景を押さえておく対策が有効です。また、意見作文については、比喩が用いられた一文を換言して、自分自身の体験をもとに意見を考える練習を重ね、書く力を磨きます。

数 学

深い理解を促し、 配点の高い記述問題を制する

全体としては、記述問題に配点を多くとっており、平面図形では、見た目に惑わされず条件から適切な図形を導く力を、空間図形では、動点への対応力を問われます。場合分けを必要とする問題演習においては、式として理解するだけでなく、図示することも求めて、深い理解を促します。

英 語

他校の英作文問題も活用し、 力をつける

例年、長文内容読解の力を試すため、図表の選択問題が出題されます。ただ英文を理解できればよいものではなく、どの図表がその英文を表しているのか考える思考力も問われます。図表などの資料を使って英作文を書く練習も必要で、都立日比谷高等学校の英作文問題も練習に活用します。

青山高等学校入試対策

国 語

文章全体を図式化する 訓練を重ねる

論説文は、文章レベルは標準的ですが、文章量が多く、図と文章の関係を問う問題が出題されます。作文では、複数の生徒の対話から、自身の考えを述べる形式の出題が多いのが特徴です。文章全体を図式化する訓練や、説明文の要旨を捉え、自身の体験と照らし合わせる練習を行います。

数 学

別解を考え、様々な視点で 問題を解く力を育成

図形分野で新傾向問題を出すと公言しているのが一番の特徴です。また出題の多い数の性質・資料の活用分野の演習に特に力を入れ、テキストの問題をアレンジし、複数解答を求める練習を重ね、図形分野でも、別解を考える時間を意識的につくり、様々な視点で問題を解く力を養います。

英 語

選択肢を把握する 読解力と早さの向上がカギ

一番の特徴は、本文の内容と合う選択肢を選ぶ問題です。他の都立高入試では、2つ選べ、などの指示がありますが、青山高等学校の入試では、いくつ答えを選ぶのか不明です。そのため、全選択肢の内容を確認する読解力と把握するスピード力が不可欠であり、育成に力を注ぎます。

立川高等学校入試対策

国 語

頻出問題に的を絞って 徹底的に対策

文章レベルは標準的です。作文の問題はありませんが、100字以内の記述が2つ出されます。選択肢問題では、因果関係を捉える問題が多い傾向です。対策のため、換言記述や理由記述の問題に多く取り組み、選択肢問題を解く際も記述の問題を解く時と同じように考える習慣をつけます。

数 学

数学全般の正確な 理解を促す対策授業

数の性質を意識した問題が増加傾向にあり、新傾向の問題も特徴的になってきました。関数では、図形との融合問題が多く、図形の知識をもとに立式する力が問われます。図形だけでなく、数学全般の知識に対する意味を反復して問うことで、正確な理解を定着させる授業を展開しています。

英 語

基礎の語彙力を高めて 確実に得点を伸ばす

内容一致の問題では、青山高等学校と同様に多肢選択式の問題が出されます。「正答は2つ」といった問題に比べ、選択肢の識別処理能力がより必要です。英作文は40～50語を書く必要がある割に配点が8点と低く、単語記述などの各2点の小問を落とさないよう、基礎の語彙力を高めます。

八王子東高等学校入試対策

国 語

文章の図式化や、 要点を掴む反復練習を積む

論説文は、文章量が多く、抽象的な内容や、図の出題があります。また換言記述や対比記述が比較的多いのも特徴です。文章全体を図式化する練習や、段落ごとの要点を掴む反復練習を行うとともに、日頃から新書や問題集で、様々なテーマの文章を読んで、苦手意識を取り払うよう促します。

数 学

傾向を捉えた演習で、 最短で正解を導く

高度な計算力を求める問題は多いですが、奇をてらった問題は少なく、傾向を捉えた演習を積み重ねれば、効果が出やすくなっています。関数や空間図形との融合問題では、どの情報からどの解法ができるかを洗い出してから、最短で解く方法を学ぶことで、様々な視点で問題を見る力を養います。

英 語

様々なテーマの英作文に 対応できるよう特訓

特徴的なのは40～50語を要する英作文です。テーマが独特で、苦手意識を持つ生徒も多いですが、12点と配点が高く、とにかく書いて部分点をとることが重要です。どんなテーマでも困らないように、和文英訳から練習を始め、自分の考えを英語に書き表す訓練を重ねて力を蓄えます。

都立理科(共通)対策

表面的な学習ではなく、根本的な理解で、合格を引き寄せる

進学指導重点校合格のために必要な点数をとるには、知識偏重型の学習ではなく、思考力を重視した学習が必要です。仮説を立てる力、長いリード文を正しく読み取る力、与えられた資料の要素を理解する力が必要です。根本的な理解を支え、得点力を養います。

都立社会(共通)対策

単純な暗記にとどまらず、多面的で多角的な思考力と表現力を育む

社会と言えば暗記、という勉強の仕方が通用しないのが都立の社会入試の傾向です。E-styleでは、用語と用語をつなぐ背景的事象とその理由について深く追求する授業を展開します。「なぜ起こったのか」「もし〇〇だったら」と繰り返し問い、求められる多面的で多角的な思考力と表現力を育成します。

最難関都立高校入試対策ゼミ(前期・後期)

自校作成問題に特化した指導で得点力を徹底的に鍛え上げる

最難関都立高校の自校作成問題対策へ特化したゼミです。カリキュラムを前期／後期に分け、入試問題さながらのテスト教材の演習・解説・復習を繰り返し、最難関都立高校入試への実戦力を養います。最難関都立高校入試に精通したE-style各教科の専門教師が合格に向けてのノウハウを伝授します。

わたしの合格体験記

E-style巣鴨校
小石川中等教育学校対策コース
都立小石川中等教育学校
2023年度合格

S.Rさんとお父さん

最後まであきらめない。
コツコツと学びを重ね、
憧れの難関校に
合格することができました。

S.Rさん

ディスカッションで 多様な意見や考え方に触れる

E-styleに入る前に、先生からテーマをもらってチームのみんながディスカッションしている授業を見学しました。みんなが積極的に意見を言っていてすごいなと思いました。実際に授業を受けてみると、みんなが何を考えてどこまで理解しているのかがよく分かります。先生から「間違えてもいいからたくさん発表しよう」と言われて、僕もみんなに負けないように自分の考えをしっかりとめて意見する習慣ができました。

受験勉強する日々の中で、このままでは合格できないかもしれないと不安になることもありましたが、でも、苦手科目も必死に取り組んでいるのに途中であきらめたら今までやってきたことが無駄になると思って、がんばり続けることができました。小石川中等教育学校では大好きな科学の実験をたくさんしたいし、興味のあるクラブ活動に参加したいです。そして将来は、困っている人を助ける薬の開発に関わりたいなと思っています。

お父さん

息子の個性を大切にしながら、 最後まで伴走してもらえた

息子が小石川中等教育学校に合格できる可能性は高くはなかったと思います。ですが小石川中等教育学校に行きたいという息子の気持ちを尊重してもらえたことに感謝しています。合格に向けて得意なところを伸ばし、苦手なところを克服するためにすべきことを学習計画として提示され、その学習計画に沿いながら、先生が最後まで息子に伴走してくださいました。息子も努力しましたが、合格できたのは先生の存在がとても大きかったと感じています。

試験後にどのように問題を解いたのかを確認したのですが、息子はこれまで苦手だと敬遠していた計算問題にも取り組み、今までにない問題の解き方をしていました。限られた試験時間の中で、どの問題を解くのかという取捨選択が行われていました。誰もが緊張する試験で冷静かつ勇気ある決断ができたことに驚くとともに、息子の成長を感じることができました。

一問一答

Q E-styleを選んだ理由

A S.Rさん 友だちがE-styleの体験講座を受けたと聞いて僕も授業見学に行きました。その時に参加したディスカッションが楽しかったからです。

お父さん 入塾に関して疑問に思う点も丁寧に説明いただき、息子も納得している感じがあったのでE-styleに決めました。

Q E-styleに入ってよかったこと

A S.Rさん 志望校に合格できたことです。白衣を着て大好きな実験に取り組めるので、本当に嬉しかったです。

お父さん 学習が遅れたとき、息子が不安になったとき、先生に相談できました。親の悩みにも答えていただきました。

Q あなたにとってE-styleとは?

A S.Rさん 自分の力を引き出してくれる塾です。苦手だった作文や計算も、試験では集中して取り組むことができました。

お父さん 先生が生徒をよく見ていて長所や短所を把握し、その上でどこをどう伸ばすのかという提案がある塾です。

第一志望校に合格された親子にインタビュー。

E-style入塾のきっかけや指導の感想などお子さま、保護者さまの両方の視点から語っていただきました。

E-style巣鴨校
最難関都立高校入試対策コース
東京都立戸山高等学校
2023年度合格

Y.Hさん

「受験へのプレッシャーを
自分の力ではねのける。
そんな精神力も養うことができました。」

Y.Hさん

質問に次ぐ質問で、 苦手な科目を克服

僕は得意な科目と苦手な科目がはっきりしていて、大好きな数学は何時間でも勉強していられますが、苦手科目に関してはモチベーションが維持できないことが課題でした。そこであえて自習室という勉強しなければいけない環境に身を置いて、ひたすら勉強に集中するよう習慣づけていきました。授業だけでなく自習室でも先生に質問し続けたからこそ、苦手科目が伸びたのだと思います。

中学受験で第一志望校に合格できなかったため、高校も不合格だったらとプレッシャーを感じていました。そんな時に先生の励ましは心強かったし、模擬試験などで結果が出るようになると少しずつ自信がついていきました。試験当日は自分の実力を出し切るだけだと冷静に試験に向き合うことができ、念願の戸山高等学校に合格することができました。戸山高等学校にはSSHクラスがあるので、SSHクラスでさらに数学や物理など理系の勉強を深めていきたいです。

お母さん

受験生だけでなく、 親の不安にも手厚いサポート

小学5年生からE-styleに通い始めたのですが、それまでの息子は誰かに話しかけることが苦手で、自分の中で答えを出してしまい質問して考えを深めることが苦手でした。そんな性格を察した先生方が積極的に声掛けしてくださったおかげで、息子は率先してE-styleに通うようになり、自主的に勉強する習慣が身についていきました。息子にとってE-styleは信頼できる場所だったのだと思います。

高校受験が近づいてきてプレッシャーを感じたのか、以前から自分の思っていることを口に出さない息子が一層何も言わなくなり心配でした。三者面談の時に相談すると、先生から「お母さんとちゃんと話そう」と言っていただいたり、中学校の内申点を上げるためにできることをアドバイスいただいたりと、受験生をもつ親の不安も解消していただきありがたかったです。E-styleにお任せして正解でした。先生方には心底感謝しています。

一問一答

Q E-styleを選んだ理由

A Y.Hさん 他の集団塾に通ったことがあるのですが、E-styleは少人数制授業で集中しやすそうだったからです。

お母さん 志望校対策に特化したコースがあったことと、先生方のお話を聞いて信頼できると感じました。

Q E-styleに入ってよかったこと

A Y.Hさん 学習環境に満足しています。授業や自習室で、先生に何度も質問しながら学びを深めていくことができました。

お母さん 受験は決して楽なものではないです。その受験を乗り越えた息子は親の目から見ても成長したと思います。

Q あなたにとってE-styleとは？

A Y.Hさん 受験勉強だけでなく、自分から積極的に発言したり、質問できるようになれた場です。

お母さん 先生方がとても親身になり、息子をあたたく見守ってくださいました。とてもおすすめる塾です。

生徒・保護者の声

生徒、保護者にアンケートを実施。

E-styleの指導の感想や気に入っている点など、生の声をご紹介します。

Q ご入塾の決め手は？

生徒

- 1位 志望校別の受検対策ができるから (81.90%)
- 2位 体験授業がよかった (42.86%)
- 3位 教室の印象がよかった (40.00%)

教師のレベルが高いから (22.86%)、その他 (7.62%)、合格実績がよかったから (6.67%)、授業以外のサポートがよかったから (5.71%)

保護者

- 1位 志望校別の受検対策ができるから (90.34%)
- 2位 教室の印象がよかった (36.93%)
- 3位 体験授業がよかった (22.73%)

教師のレベルが高いから (19.32%)、その他 (15.34%)、合格実績がよかったから (8.52%)、授業以外のサポートがよかったから (8.52%)

Q E-styleの気に入っている点を教えてください

先生

先生が「どんどん質問に来てね」と言ってくれるので、いつでも質問がしやすい。(小6)

分からない問題は、丁寧に教えてもらえる。模試や定期テストの得点もしっかり意識してくれて、明確な目標を持って取り組むことができる。(中3)

授業

リモート授業で発言力のある友だちが多いので、授業に活気があって面白い。(小4)

少人数だから授業に集中でき、先生に質問がしやすいので、もっと勉強したいという気持ちになれる。(小5)

学習環境

自習室があり、その場で作文の添削をお願いしたり質問ができる。(小4・保護者)

タブレットを塾内で使用でき、知りたいことを調べることができる。自習室があり、いつでも集中して勉強できる。(小6)

Q 入塾してよかったエピソードは？

学校でもあまり発表するタイプではなかったのですが、塾に通い出してから、自分の意見を述べる機会が増えました。先生方が、生徒の自主性を尊重してくださるおかげだと思います。(小6・保護者)

子どもたちの焦る気持ちや頑張りたい気持ちをしっかり受け止めてくれる先生がいる。最初はその先生を恐れていたが、それが分かってからは先生を信頼してさらに頑張ろうと思えた。(小6)

入塾までの流れ

お子さまが安心して通塾できるように、ご入塾までのフォローをしっかりと行っています。ご家庭でじっくりご検討いただいた上でご入塾できます。

学力診断テストご面談・問診

思考力・判断力・表現力を測る学力診断テストを受けていただきます。テスト結果をもとに、今後の学習方針を専門教師がアドバイスいたします。

※学力診断テストは入塾基準点を設定しています。

体験授業・個別フォロー授業

実際の授業に参加し、志望校対策に特化した指導を体験していただけます。さらに、専門教師の個別フォロー授業も実施し、不安点を解消します。

※小学部・中学部で回数が異なります。

ご入塾手続き・学習計画相談

ご本人とご家族の方が納得・安心いただいた上で、通塾がスタート。授業と自宅学習の進め方について、専門教師が詳しくアドバイスいたします。

割引・特典制度

お得な割引制度も充実しています。

きょうだい塾生割引

ごきょうだいで通塾いただくと、最年少の方ひとりの月謝から20%OFF。

お友だち紹介制度

E-styleに通っているお友だちからの紹介で入塾された場合、入塾いただいた方と、紹介して下さった塾生の方に特典をご用意しています。

教室一覧

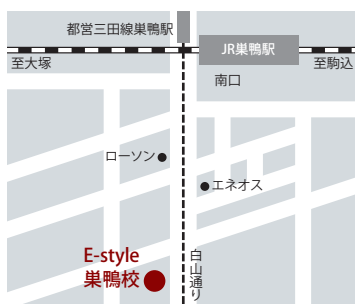
小石川中等教育学校 対策コース

E-style 巣鴨校

☎050-1796-8650

火～金 14:00～20:00
土 13:30～20:00
豊島区巣鴨1-20-9
巣鴨ファーストビル3階

JR巣鴨駅南口より徒歩4分



白鷗高校附属中学校 対策コース

E-style 上野校

☎050-1796-8652

火～金 14:00～20:00
土 13:30～20:00
台東区東上野1-15-4
キスワイヤ御徒町1・2階

東京メトロ上野駅
3番出口より徒歩3分



両国高校附属中学校 対策コース

E-style 錦糸町校

☎050-1796-8651

火～金 14:00～20:00
土 13:30～20:00
墨田区江東橋3-9-7
国宝ビル2階

JR錦糸町駅南口より徒歩5分

都営バス錦糸町駅前(南口)
より徒歩3分



桜修館中等教育学校 対策コース

最難関都立高校対策コース

E-style 大井町校

☎050-1796-8653

火～金 14:00～20:00
土 13:30～20:00
品川区大井1-1-1
エトモ大井町2階

JR大井町駅西口直結



富士高校附属中・大泉高校附属中学校 対策コース

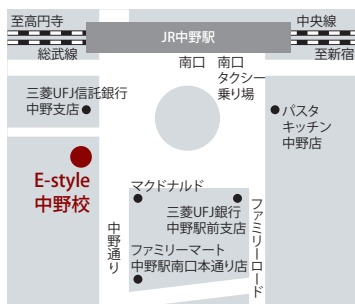
最難関都立高校対策コース

E-style 中野校

☎050-1796-8658

火～金 14:00～20:00
土 13:30～20:00
中野区中野3丁目34-27
中野駅前ビル2階

JR中野駅南口より徒歩1分



武蔵高校附属中・三鷹中等教育学校 対策コース

E-style 吉祥寺校

☎050-1796-8655

火～金 14:00～20:00
土 13:30～20:00
武蔵野市
吉祥寺本町1-17-12 3階

JR吉祥寺駅東口より徒歩1分



九段中等教育学校 対策コース

E-style 飯田橋校

☎050-1796-8654

火～金 14:00～20:00
土 11:00～20:00
千代田区富士見2-11-11
栄光ビル1階

JR飯田橋駅西口より徒歩3分



南多摩中・立川国際中等教育学校 対策コース

E-style 立川校

☎050-1796-8657

火～金 14:00～20:00
土 13:30～20:00
立川市曙町2-10-1
ぶどうやビル2階

JR立川駅北口より徒歩5分



教室見学・授業体験 随時受付中。

詳しくはWEBサイトまたはお電話にてお問い合わせください。



E-style

Produced by 栄光ゼミナール

<https://e-style.eikoh-seminar.com/>

